

さいたま市長メッセージ

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

本市では、10月26日までの1週間で、877件の検査を実施し、40名の新規陽性者が判明しました。クラスター関係者の検査が概ね終了したため、前の週と比べて26名減少しています。

本市では、感染拡大防止のため、9月以降に3件のクラスターが発生した大宮南銀座地区で、接待を伴う飲食店の従業員に唾液によるPCR検査を行うこととしました。10月21日に、実施通知書と検体採取容器を、対象となる201店舗に送付しており、順次検査を行っていきます。

また、浦和区の劇団クラスターについては、濃厚接触者や劇団関係者以外にも対象を広げて検査を行い、10月24日時点で、劇団関係者以外に83名を検査し、新規陽性者は発生していません。

10月23日の国の感染症対策分科会が、新型コロナウイルス感染症は主に、クラスターを介して拡大するとして、感染リスクを高める5つの場면을提示しました。

これまでも示されている「飲酒を伴う懇親会等」や「大人数や長時間に及ぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」といった場面のほか、「居場所の切り替わり」という新たな場面が示されました。休憩時間や、活動後の更衣室など、一息つくタイミングにも、気を緩めることなく、感染対策を意識して行動しましょう。

10月31日は、ハロウィンの日です。近年は、ハロウィンを楽しむ方が多くなりましたが、屋外であっても、密集状態や、密接な距離で大声を出す行為は感染のリスクが高まります。今年は、リスクに注意しながらご家族や親しい方だけで楽しんでいただきたいと思います。